

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

令和5年度

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			・2つの訓練室や相談室を、利用者の年齢や障害特性に合わせて、活動部屋を分けることができるため、各利用者は指定基準より広めに、余裕をもって利用して頂けていると考えている。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%			・指定人員を考慮してシフトを組んでいる。 ・曜日によったり、子どもの状態に応じて、指導員が一人でも多いと助かる。人件費のことを考慮すると、難しいが。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%			・バリアフリーではない箇所はあるが、バリアフリーが必要な利用者とは契約していない。配慮は適切と判断する。 ・洗面所、トイレ、廊下の床はフラットになっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%			・日々の勤務中、勤務後に職員が積極的に報告をしてくれており、常にPDCAサイクルを実践している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			・毎年度2月頃に保護者向けに評価表を配布し、評価を実施している。集計後、結果を見ながら次年度の改善策を検討している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			・毎年度、事業所内でも職員を対象に自己評価を実施している。保護者からの評価表の結果と自己評価の結果は、それぞれ集計し、事業所のホームページとすてっぷなごやに掲載している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		100%		・児童発達支援・放課後等デイサービスでは、第三者評価は義務化されておらず、実施していない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			・毎月、虐待防止、障害特性、災害など、勤務に直結するテーマの研修を実施している。 ・動画や資料による研修を毎月行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			・職員からの聴き取りをした上で、児発管がアセスメントを行っている。アセスメント後は、保護者面談の機会を設け、利用児童や保護者のニーズを把握した上で、個別支援計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			・療育センター等で実施された発達検査結果を、保護者の方から頂くようお願いし、非常勤職員とも共有している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			・常勤・非常勤の全職員が関わり、活動プログラムを編成している。 ・職員の特技などを活かす案を出してもらい、プログラムに取り入れている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			・運動、SST、外出行事、手先を使った取組み等、様々な分野の取組を実践している。 ・毎月の行事予定でバリエーション豊かなプログラムが計画されている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%			・放課後、学休日に分けて、プログラムの内容を考えている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			・開始前に必ず打ち合わせ、申し送りをしている。 ・サービス提供前に、職員全員で打合せをし、当日の予定、プログラムの内容、チーム分け、その他利用児童の体調や連絡事項を共有している。

関係機関や保護者との連携	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	86%	14%		・サービス提供時間後は、一部職員が送迎に出るため、職員一斉に打合せを行うことは不可能であるが、その日のプログラムの振り返り、利用児童についての連絡事項、ヒヤリハット等、必ずその日の内に、職員の伝達やメール、電話を通して、施設長に報告している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			・終了後には送迎がある従業員がいる為、打ち合わせ不可なるも報連相は出来るようにしている。 ・利用者一人一人の連絡帳を活用している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			・最低半年ごとにモニタリングを行い、利用児童の状況に応じて、見直しをしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	100%			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			・施設長、又は児発管が出席している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%			・主に保護者を通して、適宜緊急程度により、学校と直接連絡を取り合い、利用児童の安全を第一とした対応を心がけている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	100%			・現在、医療的ケアを必要とする利用児童はいない。今後、対応が必要となった場合は、必要な対応をしていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				・これまでには障害福祉サービス等へ移行した前例はないが、今後必要となった場合には対応していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	86%	14%		・児童クラブ等と予め約束をして活動が出来る機会を設けることは難しいが、公園や外出行事の際、遊具の譲り合い、偶々出くわした子ども達と一緒に遊んだりといった機会がある。弊事業所の利用児童から周囲の大人や子どもに率先して挨拶をし、関わるよう、職員が促している。 ・地域の公園や買い物プログラムのを通して、障がいのない人との交流をしている。 ・公園遊びやゴミ活、外出などの行事の中で色々な人と接する機会がある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	14%	86%		・積極的には出来ていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	100%			・連絡帳や送迎時に伝えている。 ・利用日には連絡帳を通して、保護者に利用児の様子について報告している。連絡帳では伝えづらいことや、気になることについては、送迎時に保護者に直接、または電話をしてタイムリーに伝えるようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100%			・コロナ渦で開催が難しかったが4月に行う。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%				・契約時に丁寧に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%				・メールや電話で、開所時間外でも対応し、相談や申入れに対して迅速に対応している。（施設長）
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%				・コロナ渦で開催が難しかったが4月に行う。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%				・メールや電話で、開所時間外でも対応し、苦情があった場合には（そもそも苦情はなく、相談や問題点について）迅速に対応出来るようにしている。（施設長）
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%				・毎月予定表を紙で配布し、HPにも掲載している。 ・不定期ではあるが、写真を掲載したおたよりを発行している。 ・内容によって、個々にお手紙やメールで発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%				・各利用児童や保護者についての理解を深め、心を許してお付き合い頂けるよう、意思疎通や情報伝達に配慮するよう努めている。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	43%	43%	14%		・個人情報の保護もあり難しい。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%				・名古屋市の条例に基づき、毎月地震か火事を想定した訓練を行っている。（水害の発生対象地区ではない）
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%				・契約時に保護者と確認をし、必要な情報については事務所内で職員が見やすい場所に掲示している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%				

